

1997 (平成9)

7月 July

国際金融会議「グローバル24」開催

ドイツ銀行等と共同で、東京・フランクフルト・ロンドン・ニューヨーク等の6都市をテレビ会議形式で結ぶ国際金融会議「グローバル24」を開催、EU通貨統合の影響に関する議論が行われました。

10月 October

ニューヨーク支店部制導入

ニューヨーク支店内に米国全体にわたるインベストメントバンキングの営業力を強化することを目的とする米州インベストメントバンキング部をニューヨーク総務部、ニューヨーク営業部とともに新設致しました。

アジア通貨リスクマネジメントセミナーの実施

アジア通貨不安を背景としたお取引先の当該通貨の為替リスク回避ニーズにお応えするべく、「アジア通貨リスクマネジメントセミナー」を開催し、現地の最新経済情報や実践的なヘッジスキームを紹介致しました。

IBJ USAケアーズ・デイ・プログラム開催

当行の米国における業務開始25年を記念して、ホームレスの方々等に住宅供給を推進している米国のボランティア団体Habitat for Internationalと共催で、IBJ USAケアーズ・デイ・プログラムを主催、全米6拠点140人以上の当行スタッフが住宅建設作業に参加致しました。



11月 November

サンデーバンキングの開始

当行のATM時間外稼働店舗において、日曜日(9時 - 17時)にも普通預金の引き出し・残高照会をご利用頂けるようになりました。また、CDオンライン提携を行っている金融機関(都市銀行、日本長期信用銀行・日本債券信用銀行・商工組合中央金庫)の間でも、日曜日に同様のお取引ができるようになりました。

12月 December

投信店舗貸し業務の開始

投資信託委託会社に対する銀行の店舗貸しが解禁されたことを受け、本店債券部・新宿支店・渋谷支店において日本興業投信(株)が窓口を開いて投資信託の販売を開始致しました。



1998 (平成10)

2月 February

米国で貸出債権証券化プログラム(CLO)実施

米国拠点を持つ米企業向け貸出債権のうち13億ドルを証券化し、欧米の投資家に販売致しました。邦銀の海外証券化は商品設計等を欧米の投資銀行に委ねるケースが多いのですが、当行は商品設計から販売まで一貫して取り行いました。

海外子会社による優先証券10億ドルを発行

米国に新設した海外連結子会社を通じて米ドル建の永久非累積優先証券10億ドルを発行、自己資本の増強を図りました。

英国発電所向けプロジェクト・ファイナンス、ディール・オブ・ザ・イヤー(電力部門)を受賞

当行が単独主幹を務めた英国中西部の発電所向けプロジェクト・ファイナンスが専門誌で97年の電力部門ディール・オブ・ザ・イヤー(最優秀ディール賞)を受賞致しました。同誌は、毎年世界のプロジェクト・ファイナンスのうち、最も優れた取引を部門別に表彰するもので、邦銀では当行のみが単独で受賞しました。

3月 March

興銀アセットマネジメントインターナショナル設立

グループのグローバル資産運用業務体制の強化を図る為に、ロンドン興銀投資顧問部を分離し、興銀エヌダブリュ・アセットマネジメント(株)との共同出資により、投資顧問専業会社である興銀アセットマネジメントインターナショナルをロンドンに設立致しました。

A.G.ランストン社、グローバルな先物取次体制を確立

グループの海外先物取次業務の体制強化を図る為に、米国現地法人A.G.ランストン社は、97年のシンガポールの先物会社買収に続いてロンドン興銀の先物部門を買収致しました。これにより同社は「IBJ Lanston Futures」という統一名称を使いながら、世界の主要取引所をカバーする一元的なサービスを提供できることとなりました。

4月 April

興銀フィナンシャルテクノロジー(株)設立

グループ全体を視野に置いた金融技術の研究・開発の集約化を図る為、フィナンシャルエンジニアリング部及びストラクチャードファイナンス部の一部を母体として、興銀フィナンシャルテクノロジー(株)を設立致しました。同社は金融先端技術・情報技術の金融への応用に関する研究・開発を行うとともに同業務に関するコンサルティング等も行います。

IBJシュローダー銀行、米投資顧問会社を買収

米国現地法人IBJシュローダー銀行は米国投資顧問会社デルファイ・アセット・マネジメント社を買収致しました。これにより当行グループのグローバル運用体制の一層の強化が図られました。

5月 May

野村證券(株)との共同事業に関する合意

当行と野村證券(株)は日本版ビッグバンに対応しお客様に最高水準の金融サービスを提供する為、デリバティブズなど金融新商品・新手法を提供する事業と資産運用・管理事業の二つの業務分野で共同事業を行うことで合意致しました。



国内貸出債権証券化プログラム(CLO)立ち上げ並びに発行

グループ内のノウハウを結集して国内企業向け貸出債権プールを証券化する為のユーロMTN発行枠7,000億円(邦銀では最大規模)を設定、5月に第一号発行(920億円)を行いました。損保の保険機能を活用し、同種の債券としては国内で初めてAaa/AA+(ムーディー)S&P社を取得するとともに内外の投資家等からスキームに対する高い評価を得ました。

7月 July

東京支店と日本橋支店の統合

首都圏の大型店舗である東京支店と日本橋支店を統合し、東京営業部としました。